

地 域 と 医 療 で 咲 く コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン

あまが咲

2022

2月

No.93



兵庫県立尼崎総合医療センター

Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより



〔診療科紹介〕

乳腺外科
産婦人科

薬剤部 抗がん剤調製

●〔AGMCニュース〕

患者サポートセンター棟の整備が始まりました

●ぶらり〜っと病院探訪

●マスク着用のご協力をお願いします

●面会禁止のお願い

●患者の権利・義務憲章

乳腺外科

一人一人に優しい 乳腺診療を提供します



乳腺外科 科長

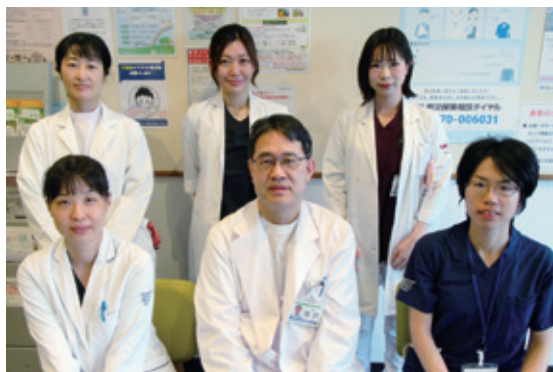
諏訪 裕文

- 京都大学医学博士
- 京都大学臨床教授
- 日本乳癌学会乳腺専門医・指導医
- 日本外科学会専門医・指導医
- 日本がん治療認定医機構認定医



当科は主に乳癌の診断や治療を行っており、患者様に寄り添った医療を心がけています。乳癌と診断された場合、精神的なダメージを受けることが多いため、専門の看護師が同席して心理的サポートを行っています。

医師や看護師だけでなく、薬剤師、放射技師や検査技師などが力を合わせたチーム医療を提供し、地域の乳腺クリニックとの連携も行っています。



構成メンバー

諏訪 裕文
木曾 末厘乃
太治 智愛
山口 あい
泉 愛
池田 真子

HBOC
カンファレンス
風景



カンファレンス
風景



手術風景



提供する活動内容

当科での乳腺疾患の年間手術数は約200件です。

2020年4月より、遺伝性乳癌卵巣癌症候群が疑われる患者に対する BRCA 遺伝子検査が保険適用となり、検査説明や提案をさせていただくとともに、遺伝子変異を認めた患者に対しては遺伝カウンセリングを行っております。

月に1度は遺伝性腫瘍を扱う科が集まりカンファレンスで症例検討を行います。また当科を中心にカンサーボードの開催や、病理医・放射線診断医・生理検査や放射線検査技師と共に病理所見と画像所見を検討する病理画像カンファレンスも開催しています。

患者さんや 地域医療機関への メッセージ



女性の9人に1人が乳癌に罹患すると言われています。検診異常、胸のしこりや違和感を自覚されたら一度乳腺外科へお越しください。

チーム一丸となって、サポートさせていただきます。

産婦人科

より安全で低侵襲な 婦人科手術を実施します

婦人科手術は、子宮、卵巣など、女性の生殖・性ホルモンをつかさどる臓器を対象とします。子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫、性器脱といった良性疾患では、できるだけ鏡視下手術（腹腔鏡、子宮鏡）、腔式手術を行い、より安全で低侵襲な手術を採用しています。また、患者さんの希望に応じて妊孕能（生殖能）の温存を行います。子宮体がん、子宮頸がんでは患者さんを厳選して腹腔鏡下手術を実施しています。



構成メンバー

産婦人科医師 19名
○常勤医師 17名
○非常勤医師 2名

[前列左から]

安田／田口／池田／増田
高石／黄／安堂

[後列左から]

廣瀬／白神／松尾／佐藤
渡辺／松井／別宮／三好
尾崎／信正

提供する活動内容

産婦人科ではより良質な医療を提供するべく次のような鏡視下手術、腔式手術を実施しています。

良性疾患

腹腔鏡下腔式子宮全摘術
腹腔鏡下子宮筋腫摘出術
腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術
腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術
腹腔鏡下仙骨腔固定術
子宮鏡下子宮筋腫摘出術
子宮鏡下子宮内膜ポリープ摘出術
腔式子宮全摘術
子宮頸部円錐切除術
など

悪性疾患

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術
（子宮体がん）
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術
（子宮がん）
腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清術
など

術前
カンファレンス
風景



産婦人科科長 廣瀬 雅哉



内視鏡技術認定医

佐藤 浩 医長 [左]
安堂 有希子 医長 [右]

患者さんや
地域医療機関への
メッセージ

当科の鏡視下手術件数は年々増加しております。手術が必要な患者さんに対して地域医療機関と協力して診療を行ってまいります。
その他、診療内容については当科ホームページをご覧ください。





患者サポートセンター棟の整備が始まりました

入院及び外来の医療提供の効率化を図るとともに、今後の医療需要の増加に対応するため、病院北側に「患者サポートセンター棟」を整備することとなりました。令和4年度後半の完成を目指して、現在工事が行われています。

この整備に伴い令和4年春頃に駐輪場を病院北側から東側（庄下川沿い）に移設します。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

「患者サポートセンター棟」の主な機能としては、以下のとおりです。



入退院支援機能の充実

入院前から退院まで連続した患者支援を行うため、院内に分散している入院前検査説明、麻酔科診察、退院調整等の入退院支援機能の集約・拡充を図ります。



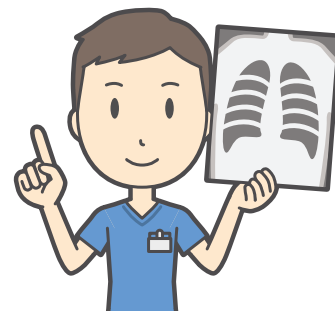
がん診療の充実

令和3年3月に国のがん診療連携拠点病院に指定を受けたことから、がん診療のさらなる充実を図るため、院内に分散配置されているがん相談やがん登録業務等を集約するとともに、がんゲノム医療を見据えた診療体制の強化を図ります。



画像診断センターの拡充

画像診断センターは院内2カ所に分散され、いずれも狭小なスペースであることから、画像診断件数の増加に対応するため、新たに読影室を拡張整備します。



ぶらり〜っと 病院探訪

休憩室

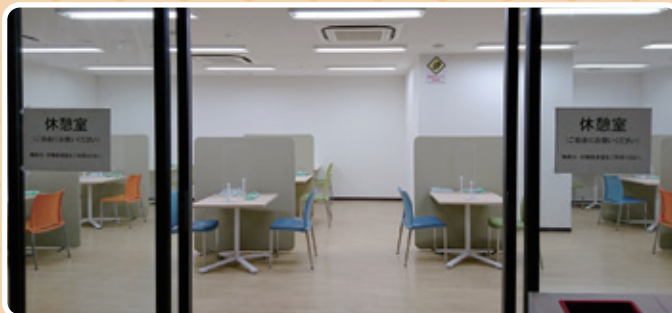
今月には1階に新しく設けられた「休憩室」をご案内します。

もともとはコンビニエンスストアが営業していた場所なのですが、その移転に伴い空いたスペースを有効活用することで生まれた一室です。

感染予防対策として、密にならないよう間隔をあけて椅子と机が並べられ、各机上にはパーティションのみならず消毒用のティッシュとスプレーも常備されています。電子レンジがおかれていて、かんたんな食事をとることも可能です。

診察や検査までの時間をここでお過ごしにすることができます。また廊下側全面が大きなガラス窓でつくられていますので、なかの様子がよく見えて、待ち合わせの場所としてもご利用頂けます。

ぜひ、一度お立ち寄りください。



ご寄附のお願い

当院は、地域の皆様とともに、より地域に開かれた病院づくりを進めていくため、寄附を受け入れております。

皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●寄附の使途

ご寄附の趣旨に沿って、当院の運営のための機器購入や臨床研究、スタッフ育成など、幅広く活用させていただきます。

●寄附のお申し込み・お問合せ先

兵庫県立尼崎総合医療センター 総務部総務課
〒660-8550 尼崎市東難波町2-17-77
TEL.06-6480-7000(代表)

DONATION



お知らせ掲示板



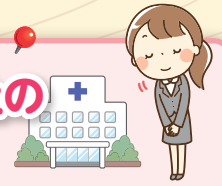
不織布マスクの正しい着用をお願いします

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外来患者さんをはじめご来院の方には、マスクの着用をお願いしているところです。

入院中の患者さんにつきましても、医学管理上マスク着用が困難と判断した場合を除き、マスクの着用をお願いしております。

なお、ウレタン、布マスクでは著しく感染防護効果が落ちることが知られていますので、入院時には、ウレタン、布マスクではなく、不織布マスクの準備をしていただきますようご理解、ご協力をお願いします。

面会禁止のお願い



当院では面会を全面的に禁止しております。なお、患者さんの着替えなどの荷物の受け渡しは病棟職員が対応しますので、防災センターにお声がけください(11時～18時)。

ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

理念

高度・良質な医療による社会貢献

基本方針

- 阪神地域中核病院としての「高度専門・救急医療」
- 患者・医療者、お互いの「納得・安全・チーム医療」
- 救急・紹介を「断らない医療」
- 住民・患者・医療者・福祉・介護・行政が全体で1つの「地域医療」
- 医療水準向上のための「教育・臨床研究・自己研鑽」

患者の権利・義務憲章

患者さん・医療者共に協力して「患者さんの権利」と「患者さんの義務」を尊重し守る

【患者の権利】

1. 公平に医療を受ける権利
社会的な地位、疾病の種類、国籍、宗教などにより差別されことなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利
2. 一人の人間として、尊重される権利
各々の人格、価値観が尊重され、患者・医療者が互いに協力して、医療をつくり上げていく権利

3. 納得医療の権利

医療提供者から説明と情報提供を受ける権利／自分の意志で治療方法等を決定する権利／希望しない検査や治療を断る権利

4. セカンドオピニオンの権利

複数の専門医等の意見を求める権利／他の医療機関に変わることもできる権利

5. 診療情報の提供を求め、自分の意見を述べる権利

6. プライバシー保護の権利

診療の過程で得られた個人情報を守られる権利

7. 臨床研究についての権利

目的・危険性について情報提供を受ける権利／参加するかどうかを決める権利／途中でも中止を求める権利／参加しなかった場合でも不利益を受けない権利

【患者の義務】

1. 医療者側に情報を知らせる義務、理解できるまで質問する義務
家族の状況、既往歴、病状の変化、現在の症状等を、正確に知らせる義務／医師等の説明で、よく理解できない点を理解できるまで質問する義務
2. 医療に意欲を持って取り組む義務
合意した検査・治療方針に自ら意欲をもって取り組む義務
3. 規則と指示を守る義務
病院内の規則や指示を守り、他の患者に支障を与えない義務／不利益を受けない権利



編集後記

2月と言えば節分。阪神淡路大震災の翌年に、外国の大物歌手が兵庫県内の神社の節分行事で復興を願って豆まきをしたのが思い出されます。

「節分」はもともと季節の変わり目。現在では主に立春の前日を指します。が、中国から伝わった「鬼やらい」という行事が起源になっているとも言われ、日本では607年に疫病を鎮めるために初めて行われた記録があるようです。

今年の「鬼やらい」がこの疫病を鎮めてくれるように祈るばかりです。



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <https://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索